

# 世界の果てまでイッテV in ベトナム

大森 洋介（備前市立片上小学校） 担当教科／全教科

実践教科／総合的な学習の時間 対象学年／6年生 対象人数／33名

## 実践の目的

- ・ベトナムの文化や風習について知り、ベトナムに関心を持つ。
- ・ベトナムの子どもたちと自分たちを比べる活動を通して、自分たちの生活や文化を振り返り、自分自身や自分の生き方について考える。
- ・JICAが行っている援助について人的な側面から具体的に紹介する中で、国際社会に生きる日本人としての生き方やありかたについて考える。

## 授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	ベトナムはどんな国？ (総合)	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界の国の中でどんな国のどんなことを知っているか発表する</li><li>・ベトナムの国旗から国名を当てる</li><li>・ベトナムの位置や国土について知る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地図</li><li>・国旗</li><li>・パワーポイント</li></ul>
2 ・ 3	ベトナムの人や暮らしについて想像してみよう (総合)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ベトナムのイメージ」というテーマでブレーンストーミング、イメージマップの作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・カード</li><li>・模造紙</li></ul>
4 ・ 5	ベトナムの学校での子どもの実態を知ろう (総合)	<ul style="list-style-type: none"><li>・訪問したベトナムの学校の教室での風景や学習の様子を写真で見ることによって、自分たちとの様子の共通点や違いに気づく</li><li>・グループでどのようなことに気がついたか共有する。共有したのちに、全体で発表し交流することによって、自分たちが気付かなかつたことにも目を向けられるようにする</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・写真</li><li>・ワークシート</li><li>・パワーポイント</li></ul>
6 ・ 7	ベトナムの人や暮らしを写真から詳しく見てみよう JICA職員の話を聞こう (総合)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ベトナムの人や暮らし、青年海外協力隊員の活動等の写真をスライドで見る</li><li>・スライドを見て分かったことを発表する</li><li>・スライドを見て疑問に思ったり、詳しく調べてみたいと思ったりしたことなどを発表して、課題づくりをする。課題を6つに焦点化し、6つのグループ分かれ、調べる計画を立てる</li><li>・ゲストティーチャーにJICA職員を招き、話を聞く</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ベトナムで収集した写真や絵画</li><li>・パワーポイント</li><li>・ワークシート</li></ul>
8 ・ 9	自分たちの課題について調べよう (総合)	<ul style="list-style-type: none"><li>・各グループでインターネットや資料、書籍等を使って調べ学習をする</li><li>・調べたことをまとめて発表の準備をする</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット資料</li><li>・ベトナムに関する書籍</li><li>・JICAの資料</li></ul>

10 ・ 11	中間発表会をしよう (総合)	・各グループで調べたことを、全体で発表する ・発表内容について質問し合い、さらに深めるきっかけとする	・パワーポイント ・各グループの資料
12 ・ 13	戦場カメラマンのWさんの講演を聞こう (総合)	・岡山県立備前緑陽高等学校創立10周年記念特別講演会に参加 戦場カメラマンのWさんの話を聞く 「世界からのメッセージ ～希望ある明日のために」	
14	JICA専門家のMさんの講演を聞こう (総合)	・JICA専門家として、3年間マダガスカルへ派遣され、同国の消防防災体制構築を援助されたMさんの講演聞く 「一番大切なもの」	
15 ・ 16 ・ 17	ベトナム人のAさんを招聘して交流会をしよう (総合)	・各グループで調べたことを、全体で発表する ・ゲストティーチャーとしてベトナム人のAさんに講評していただく ・ベトナムの伝統的な料理である生春巻きの作り方を教わり、みんなで作って食べる	・各グループの資料 ・パワーポイント ・料理レシピ ・食材
18 ・ 19	今までの学習をふり返って新聞にまとめよう (総合)	・活動全体をふり返り、学習を通しての自分の変化や今後の自己の生き方について考える ・今までの学習をふり返って個人で新聞にまとめる	
他	ベトナム展を開催しよう (常時)	・6年生教室前の廊下にベトナム展を開催し、常時写真や書籍、資料、壁新聞等を展示する ・ベトナム展を通して他学年の児童にもベトナムに興味が持てるようにする	・写真 ・ベトナムに関する書籍 ・JICAの資料 ・地球儀

### この授業に注目！

## 2・3限目 ベトナムの人や暮らしについて想像してみよう

子どもたちは、担任が訪問したベトナムについて大変興味を持っている。しかし、国名や国旗などが分かっていても、ベトナムに暮らす人々の様子や日本との関係について、深く追求するにはいたっていない。

そこでまず、子どもたちがイメージするベトナムとはどのようなものかをはっきりさせるためにイメージマップを作成した。

### 実施方法

1. 「ベトナムのイメージ」というテーマで思い浮かべるものを、一人5枚～10枚程度のカードに書き出す
2. カードに書かれた多様なイメージを整理類型化する
3. 各まとまりに、内容を表すキーワードをつける
4. キーワードのついたカテゴリー毎の関係性を分析し、関係があればカテゴリーとカテゴリーを矢印で結ぶ

### 児童の反応～児童のイメージマップより～

ベトナムイメージ→ 整理分類→ まとまりごとにキーワードを書く→ 関連があるものを矢印で結ぶ→ 紹介する



家・家族	環境	生活	建物	戦争
家が違う	海がきたない	村がたくさんある	貧しそう	高層ビルが建ち並ぶ
家族が多そう	降水量が少ない	赤道に近い	学校が古そう	ビルが多い
びんぼう	川が大きい	虫が多い	お店が少ない	病院が少ない
昔の物	山がない	砂漠がある	小数民族がいる	お店が少ない
遺跡がありそう	川が汚れている	動物が少ない	車の渋滞がある	戦争をしている
世界遺産がある	自然が豊か	水不足	物価が低い	軍隊が強い
昔のものがたくさんある		暑そう	肌	戦争が強い
			海や川の上に住んでいる	ベトナム戦争の影響で障害をもった子が生まれている

### 所感

イメージマップを作る活動を通して、児童がもつ「ベトナムのイメージ」を明確にすることができた。児童は、開発途上国であるベトナムについて、「貧しそう」、「物価が安い」、「水不足」など全体的にマイナスイメージの意見を持つ方が多かった。

今後の学習を通して、子どもたちの「ベトナムのイメージ」がどのように変容していくかを見ていきたい。

## 4・5限目 ベトナムの学校での子どもの実態を知ろう

ベトナムの学校や教室の様子を写真で見ることによって、自分たちとの共通点や違いに気づくことができるようにした。子どもたちは、写真を興味津々で見ながらベトナムと日本の共通点や違いを発見していた。



ベトナムの小学校



ベトナムの教室内

### 日本と似ているところ

- ・植物などの緑が多い
- ・3階建ての校舎
- ・校舎がきれい
- ・壁や窓がきれい
- ・ゴミが落ちていない

### 日本と違うところ

- ・ヤシの木がある
- ・運動場がみあたらない
- ・窓の形が違う

### 日本と似ているところ

- ・机やいすを使って勉強している
- ・顔や表情が日本人とよく似ている
- ・肌の色が似ている
- ・黒板を使って勉強している
- ・プロジェクターがある

### 日本と違うところ

- ・黒板の上にだれかの写真を飾っている
- ・パイプいすを使っている
- ・髪飾りなどを付けている

### 児童の反応

- ・ベトナムの学校は、思っていたよりもきれいな校舎だった。ゴミが一つも落ちていないので、日本と同じように掃除をきちんとしているのだと思った。
- ・ベトナム人が、日本人と似ていることにびっくりした。

### 所 感

子どもたちは、写真のすみずみまで見てたくさんの情報を得た後に楽しくフォトランゲージを行った。

子どもたちは、「ベトナムの学校や子どもたちは、日本の学校や子どもたちと全然違うだろう」と思っていたけど、写真を見ると思ったより共通点が多いということに気付いた。「ベトナム人の子どもたちの表情が明るいので、学校が楽しいのだろうと思った。」という感想を書いた児童は、ベトナムの子どもたちも自分たちと同じ気持ちで学校に通っていることを知ることができて嬉しいと喜んでいた。

## 6・7限目

### ベトナムの人や暮らしを写真から詳しく見てみよう/JICA職員の話を聞こう

訪問したベトナムの写真をスライドで子どもたちに紹介した。

内容は、ベトナムの学校、食べ物、服、街の様子、青年海外協力隊員の活動の様子などである。スライドを見て分かったことを発表するとともに、疑問に思ったり、詳しく調べてみたいと思つたりしたことを発表して、課題づくりを行った。最終的に子どもたちが興味をもった写真6枚を選び、その写真から調べてみたい課題を設定し、6グループに分かれて調べる計画を立てた。

また、この時間に、ゲストティーチャーとしてJICA職員の方をお招きして、話を聞くことができた。

	児童が選んだ写真	児童の気付き	課題「テーマ」	調べる手段
一 班		<ul style="list-style-type: none"><li>・おいしそう</li><li>・ベトナムのうどんなのかな</li><li>・スープに脂身がない</li></ul>	「ベトナムの食文化について調べよう」	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット</li><li>・書籍</li></ul>

二 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>道いっぱいにバイクがたくさん走っている</li> <li>1台のバイクにたくさんの人人が乗っている</li> </ul>	「ベトナムのまちなみや交通事情について調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット</li> <li>書籍</li> </ul>
三 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔の子どもたちがたくさんいる</li> <li>私服をきて登校している</li> <li>学校が楽しそう</li> </ul>	「ベトナムの学校や子どもたちについて調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット</li> <li>書籍</li> </ul>
四 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>戦闘機が何かをまいてている</li> <li>枯葉剤をまいているのかな</li> <li>ベトナム戦争の頃の写真だろう</li> </ul>	「ベトナム戦争について調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット</li> <li>書籍</li> </ul>
五 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>空港を作っている</li> <li>空港をつくるのに、きっと何か日本が関わっているのだろう</li> </ul>	「ベトナムと日本の関わりについて調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット</li> <li>書籍</li> <li>資料</li> </ul>
六 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の男性が果樹園で働いている</li> <li>何のためにベトナムの果樹園まで働きに来たのだろう</li> </ul>	「ベトナムで活躍する日本人について調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット</li> <li>書籍</li> <li>DVD</li> </ul>

教師海外研修に同行したJICA職員の方をゲストティーチャーとしてお招きして話を聞くことができた。子どもたちからは、ベトナムに行った時のことやなぜJICAの職員になったのかという質問が出た。一つ一つの質問に丁寧に答えてくださり、子どもたちのキャリア教育の一環にもなった。



質問を受けるJICA職員

#### 児童の反応～JICA職員の方へのお礼の手紙より抜粋～

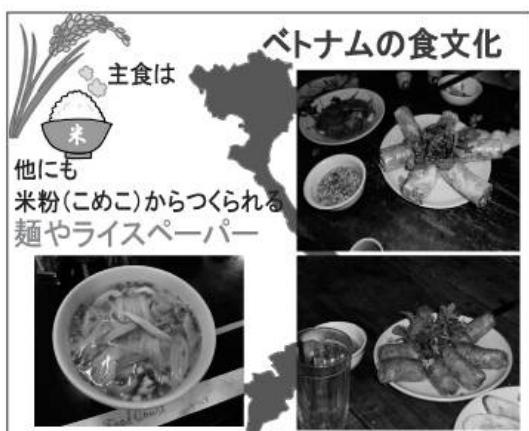
- 最初は、JICAについて全然知らなかったけど、今日の話を聞いてJICAのことがよく分かって嬉しかったです。ありがとうございました。
- 私は、JICAのことをもっと詳しく調べてみたいと思いました。

## 所 感

担任以外からベトナムやJICAのことについて聞くことは、子どもたちにとってとても新鮮であり、大変興味深かったようである。JICAのこと詳しく知ることによって、今後の学習に広がりがみられるように思われる。

## 10・11限目 中間発表会をしよう

各グループで調べたことを、全体で発表する中間発表会を行った。発表内容についてお互いに質問し合い、まとめに向けてさらに調べ学習が深まるきっかけとなるように中間発表会を設定した。以下は、中間発表で各グループが使用したパワーポイントのプレゼン資料である。



中間発表をする子どもたち

### 児童の反応

- ・ベトナムの写真やインターネットで調べた結果、たくさんのが分かってきた。日本とベトナムが、こんなに関わりがあることを初めて知った。
- ・今までベトナムは、発展途上国で暗いイメージがあったけど、調べていくと笑顔がいっぱいで活気のある国だということが分かった。友達に質問されたことをさらに調べてみたい。

### 所 感

子どもたちは、「ベトナムの食文化」、「ベトナムのまちなみ」、「ベトナムの学校や子どもたち」、「ベトナム戦争について」、「ベトナムと日本の関わり」、「ベトナムで活躍する日本人」についてグループごとに調べ発表をした。しかし、インターネットで調べることができない内容を今後どうやって調べたらよいかという新たな課題がうまれた。子どもたちからは、実際にベトナム人に会って話を聞きたいという意見が多く出た。

## 12・13限目 戰場カメラマンのWさんの講演を聞こう

これまでのベトナムの学習で子どもたちの意識が、ベトナムから世界の国々へと広がってきていた段階での講演会だったので子どもたちも熱心に講演を聞くことができ、とても有効だった。また、今までの調べてきたJICAの支援と、Wさんが言われた「中東イラク」という言葉が重なり、「JICAは中東イラクへどのような支援を行っているのだろう」という新たな課題がうまれたという児童もいた。

子どもたちの意識が、ベトナムから世界に広がっていき、世界に目を向け、世界の実情を知り、自分たちの生活を振り返りながら、自分たちのできることを考えていかなければならぬと考える良い機会となった。

## 15・16限目 ベトナム人のAさんを招聘して交流会をしよう

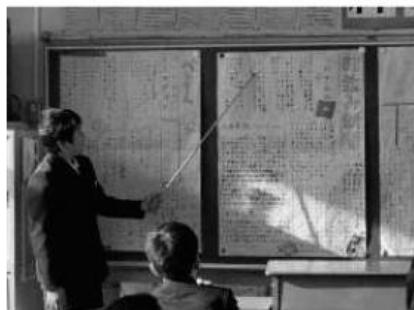
### 第1部 「今まで調べてきたことをAさんに聞いていただこう！」

全員でベトナム語でのあいさつから始め、ゲストティーチャーのAさんの自己紹介や家族についての話を聞いていただいた。そしてAさんは、「今日は、2人のベトナム人の友達を連れてきました。」と言って、かばんの中からベトナムの水上人形劇で使われる人形を動かしながら子どもたちの興味を引きつけたあとにベトナムの話を始められた。

「私の出身はベトナムの首都ハノイです。漢字で書くと河内と書きます。紅河（ホン・ハー）の中州（内側）にあることが



ベトナム人のAさん



壁新聞にまとめて発表する子どもたち



壁新聞の講評をされるAさん

名前の由来です。」と話され、子どもたちはどんどんベトナムの世界へと引き込まれていった。

子どもたちは中間発表で出た意見をもとに修正しながら、さらに調べ学習や話し合いを深めていった。

そして、「ベトナムの食文化」、「ベトナムのまちなみ」、「ベトナムの学校や子どもたち」、「ベトナム戦争について」「ベトナムと日本の関わり」「ベトナムで活躍する日本人」についてそれぞれ壁新聞にまとめ、グループ発表を行った。この発表を学習のまとめに位置づけるとともに、ベトナム人のAさんにも分かっていただけけるような発表にしようと、子どもたちは力を合わせて発表の準備を行った。

一つ一つの壁新聞の発表が終わるごとに、Aさんに講評していただいた。Aさんから、「よく調べましたね。すごいと思います。」と褒めていただいた子どもたちは、とても喜ぶとともに、さらにベトナムについて知りたいという意識が高まったように思われる。

## 第2部 「Aさんに生春巻きの作り方を教えていただき、料理をして会食をしよう！」

外国の人々と共に生きていくためには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であると考え、調理師免許をもつAさんに生春巻きの作り方を教えていただき調理実習を行った。

子どもたちの多くは、生春巻きを作るのは初めてだったので、Aさんの説明を真剣に聞いていた。



生春巻きはこのライスペーパーを使います。ライスペーパーは、お米でできています。ベトナム人は、よく作って食べます。

ライスペーパーに少し水をつけて柔らかくします。そして、ゆがいた材料を入れて巻きます。巻き方は、このように巻きます

生春巻きの中に入れる材料は好みによっていろんなものを入れます。ちょうど日本の手巻き寿司に似ていますね。

### 児童の反応～授業後に書いた児童の感想より～

- ・ Aさんとの交流会でベトナムの分からないことやベトナムで一番美味しいフルーツなどのことが聞けてよかったです。インターネットで調べても分からなかつたことを、直接ベトナム人のAさんから聞くことによってたくさんのが分かって嬉しかったです。
- ・ 来年は、日本とベトナムが国交40周年を迎えるので、もっと日本とベトナムの絆が深まつたらいいなと思いました。
- ・ 私たちのグループは、ベトナム戦争のことについて調べて発表しました。絶対に戦争はやってはいけないと思ったし、今学校に通えていることは幸せなことだということが分かりました。ベトナム戦争で枯葉剤をまかれて悲しいこともたくさんあったけど、今ベトナムは、平和な国になっていることを知って嬉しかったし、すごいと思いました。私たちの発表が終わったあとに、Aさんから褒めていただけて、とても嬉しかったです。



### 児童からAさんへの質問

- ・Aさんがベトナム料理で一番おいしいと思う料理は何ですか？
- ・ベトナムの文化と日本の文化でとくに違うところはどんなところですか？
- ・ベトナムの町並みで一番きれいだと思うところはどこですか？
- ・ベトナムでJICAの人が働いているところを見たことがありますか？



### 所 感

今回のベトナム人のAさんとの交流会までに重視したのは、一人一人の児童が自らのテーマと考えをしっかりと持って学習に臨むことである。これらなくしてグループ学習や全体学習を深まりのあるものへと高めることはできないと考える。児童が各自のテーマについて調べ学習によって確かなものにし、詳しく調べておくことができたので、交流会でベトナム人のAさんに出会った時の感動も大きく、より深い理解につながったように思われる。そして、各グループのテーマに関する発表会を行い、今自分たちが暮らしている日本とベトナムを比較して思考したり、Aさんの考えを直接聞いたりすることによって、一層理解を深めることができた。

また、生春巻きを作る調理実習を通して、外国の人々の食文化や食生活の違いを体験することでその違いを理解し、尊重する態度を育てることができたように思う。異なる文化とふれあい、違いを受け入れることを学ぶことによって、子どもたちの「人を大切にする心」を育むよい機会となった。

### 常時 ベトナム展を開催しよう

教師海外研修から帰国してすぐに校内の職員研修で、ベトナム研修についての報告会を行った。多くの先生から「とても興味深い」、「今まで知らなかつたベトナムについてよく分かった」などのご意見をいただいた。そして、2学期から6年生教室前の廊下にベトナム展を開催し、常時ベトナムで収集した写真やベトナムに関する書籍、JICAの資料、地球儀等を展示して子どもたちが自由に見ることができる様にした。ベトナム展を通して、他学年の児童にもベトナムについて興味が持てるようにした。

### 児童の反応

- ・ベトナムには、おいしそうな食べ物がたくさんあることが分かりました。私は、ランブータンやキングマンダリンなどの果物を食べてみたいです。
- ・ベトナムの人が作った刺繡の絵画は、とても上手に縫えているので感動しました。ベトナムの人は、細かい作業が上手なのかなと思いました。
- ・先生が訪れたベトナムの様子がよく分かりました。私もベトナムに行ってみたくなりました。
- ・JICAの活動がよく分かりました。



## 所 感

たくさんの子どもたちや保護者が、ベトナムやJICAの活動について興味を持ち、写真や資料を見ている姿がみられた。

ベトナム展を通して、他学年の児童もベトナムについて興味が持てたとともに、6年生の児童が調べ学習をする際に、展示されているベトナムに関する書籍や資料をすぐに手にとって活用することができ、調べ学習にも大変役立つことができた。

### 学習を終えての児童の感想

- ・ベトナムに対して最初思っていたイメージと今とでは、全く違います。ベトナムのことを知ることができてよかったです。他の国も調べてみたいです。そして、今回の学習でたくさんの「世界のためにがんばっている人」や「他の国でがんばっている日本人」のことを知ることができました。改めて日本は平和で幸せな国だと感じました。そして、私は、何か他の国のためにできることがあれば何かしたいです。この学習をして本当によかったです。
- ・ベトナム人のAさんも「JICAに勤めることが夢だった」という話を聞き、「JICAは、いろんな国の人々に知らされていているのだな。」と思いました。ベトナム人のAさんと会って、学習や料理と一緒にすることによってベトナムが、すごく身近な国に思えるようになりました。

### 全体を通しての成果と課題

ベトナムの学習を、子どもたちはとても興味を持ち、目を輝かせながら学習することができたことが、一番の成果である。私の体験を素直に受け入れ、子どもたちなりにしっかり考え、いつかベトナムに行ってみたいという気持ちになった子どもたちもたくさんいる。そして何より、この学習を通して自分自身や自分たちの生活について見つめなおすよい機会となった。

緑陽高等学校主催の特別講演会に参加させていただき、戦場カメラマンのWさんの話を聞くことができた。現在日本では、平和であることが当たり前になっているが、世界各地ではまだたくさんの戦争が起きていることを子どもたちは改めて知った。児童の意識が、ベトナムから世界に広がっていき、世界に目を向け、世界の実情を知り、自分たちの生活を振り返りながら、自分たちのできることを考えていかなければならないという、良い機会となった。

また、多くのゲストティーチャーの話を聞いたり、体験をしたりすることによって、理解にとどまることなく、異なる文化を持った人と共に仲良く生きていこうという意欲も高まった。

子どもたちの学習の感想には、「世界中の人々が仲良く平和な暮らしができるように、自分でできることを考え、行動していきたいです。」という自己の生き方に迫る内容もみられた。

この実践を通して、改めて国際理解教育は、自分自身を知る教育であることを実感した。この学習が今後の子どもたちの学習や生活に生きて働くようにさらに実践を重ねていきたいと思う。

### 参考資料

#### 【書籍】

JICA中国編「平成23年度 ネパール教師海外研修 参加型で学ぶ国際理解教育授業実践報告書」

#### 【インターネット】

JICA中国HP [www.jica.go.jp/chugoku/index.html](http://www.jica.go.jp/chugoku/index.html)

2012年12月6日

# ベトナム新聞

発行者



感じでした。  
事や食べ物。  
人などのい  
いじはこんな

ありました。  
模造紙には

そこで各班に分かれ「ベトナムイメージマップ」を作りました。

「て学ぶことになりました。

ベトナムの  
イメージマップ。

## 食

有名な料理

- ・生春巻き
- ・揚げ春巻き
- ・魚のココナッツジュース煮

めし・軽食・おやつ

- ・フォー
- ・バイニニー
- ・ハムはさみもち
- ・ブンチャー

スイーツ

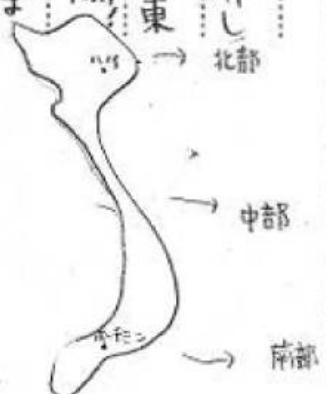
- ・ココナッツアイス
- ・揚げバナナ
- ・チーズ
- ・おにわ入りアイス

果物

- ・ドラゴンフルーツ
- ・ラシブーンタン
- ・キンクコンタリント

## ベトナムってどこ? なに?

九州をのぞいた日本とほぼ同じ広さです。かすかに四季があるそうです。小数民族がいます。お米は年4回もれます。細長い国のせいか南北では人の気質もちがうそうです。通貨はドン。USドルもつかえます。首都是ハノイです。

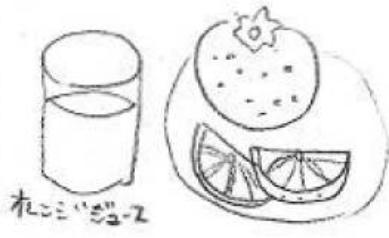


世界のために働く人々

世界のために働く人々が日本にいます。JICAという団体があります。

世界のために働く人々が日本にい

ベトナムはフルーツがたくさんあります。大森先生はいわくとてもおいしいそうです。



の困っている問題を手に受け  
します。国によって困っていること  
はちがいます。その国その国に  
合わせたえんじ  
よをしていま

す。j·ICAの  
じかーが小文字な  
のは、人をイメ  
ンシしているそう  
です。

## 先生の日

「トナリには先生の日  
があるんだよ。  
生徒が先生に感謝  
するんだよ。」

シャンブレーなどの実用品。  
花やお金を  
貯めセーブしませう。

花なんて  
値上がりするん  
だよ。

バイトOK!  
せの人が多い

# キソウマンダリン のたこねい!

リントラウオレシシの一種が感染熱が流行してしまいました。その問題を解決しようと日本人の湯浅さんという方がベトナムでかんばっています。キンザンニアのためにはうすればいいと頭を回転させて、もう今では、50以上の農家を抱いています。

2012年12月6日

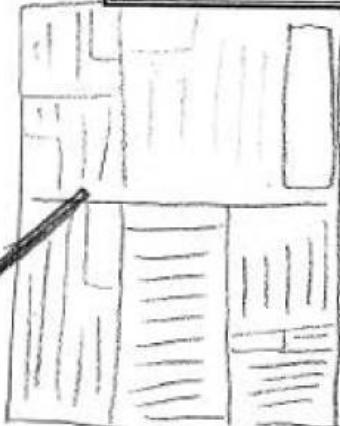
# ベトナム新聞

発行者



調味料を持ってきました。

また食べます。Aさん  
が実際にベトナムの



今まで私たちは統合でベトナムの「飯や交通」や  
戦争、青年外海協力隊、JICAについて  
調べてきました。それを新聞に書きました。そしてその  
新聞をベトナム人のAさんに見ていただきました。A

さんは一班一班の感想を言ってくださいました。私たちが調  
べたかったらしい事も教えてくださいました。そして果し

みにしていた生春巻き

です。中はまく農村はふ  
た肉、エビ、などあります。  
これをライスペーパーで

## 生春巻

①ライスペーパーを水でぬらす。



②ぐきのせろ



③



④完成



## まとめ

日本でいうとイワシのしゃぶ  
です。想像よりおしかったです。  
その後 Aさんもいました。

給食を食べました。また感  
想を書いてみました。(まれ  
ば)これでベトナムの学習があれ  
りました。ベトナムの最初感じたイメージと今、知ては印  
しようが全くちがいます。ベトナムのことを知れてよかったです。他の

国も調べてみたいです。そして今回の学習でたくさんの方  
めに「かんぱーるへや」他の国でがんばっていることを知ることになりました。  
改めて日本は平和な幸せな国ということを感じました。そして私は、  
何か他の国のためにできることがあれば何かしたいです。この国をもっとよ  
くしてあげたいです。

